※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　地理歴史科

科目	**世界史探究**	単位数	4
使用教科書	『高校世界史』（山川出版社）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	2	2
レポート	6通	6通
必要出席回数	2回	2回
テスト	○	○
課題・実習等	メディア視聴学習　あり	

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、必履修科目である「歴史総合」等の学習によって身に付けた資質や能力をもとに、世界の歴史のなかで起こった出来事などについて、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、出来事がなぜ起こったのか・背景は何なのか・出来事の特色などを考察して、よりよい社会の実現を考える科目となっています。

前述のように、必履修科目である「歴史総合」の内容をもとに、この科目は学習を進めていくので、内容は必然的にこれらの科目に比べて難しくなっています。レポートを取り組む前に、該当の教科書ページをよく読んでから、レポートを進めることが必須の科目です。

2　学習の到達目標

・社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けて理解することができる（知識・理解）
・世界の歴史の大きな枠組みと展開を軸に、歴史に関わる事象の意味や意義を考察し、レポート等に表現することができる（思考・判断・表現）
・歴史に見られる諸課題について、自分が抱いた疑問や考えたいことをもとに、その解決を視野に入れて構想し、レポートに表現することができる/学習に対する計画性をもつことができる/スクーリングにおいて積極的に自身の考えを持つことができる（主体的学習に取り組む態度）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・資料から情報を読み取り、まとめる技能が身についている。 ・各地域の諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連など歴史的事象を理解することができる。 ・各地の人間観や価値観、人間の描写や表現方法などの歴史的特質を理解することができる。	・資料からの情報と既有の知識を関連付けて考察し、表現することができる。 ・諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などについて、地理的条件と関連付け、多角的・多面的に表現することができる。	・自身が疑問に思った事柄について、資料からの情報や既有の知識をもとに、予想や仮説を構想することができる。 ・平和的で民主的な社会を形成する当事者としての自覚をもって考える態度を身に着けている

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元	学習内容	単元の評価規準	観点別評価の評価方法		
				A	B	C
前期	原始・古代・中世	１．文明の成立と古代文明 ２．中央ユーラシアと東アジア世界 ３．南アジア世界と東南アジア世界の展開 ４．西アジアと地中海周辺の国家形成 ５．イスラーム教とヨーロッパ世界の形成 ６．イスラーム教の伝播、 ７．ヨーロッパ世界の変容と展開 ８．東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ９．大交易・大交流の時代 10. アジア諸帝国の繁栄 ●NHK テレビ高校講座：世界史探究 ●インターネット・コンテンツ	１～４：各文明の成立の課程と特徴、社会・政治・経済・文化の変化を理解している。また古代国家成立の展開を理解している。また仏教・キリスト教の成立過程と特徴、伝播について理解し説明することができる。 ５～６：イスラム教とイスラム文明の成立過程と特徴、伝播に関して理解し説明することができる。 ７．西ヨーロッパ封建社会と文化について理解し説明することができる。 ８．東アジアの各国家とモンゴル帝国の成立過程と特徴について理解し説明することができる。 ９．ヨーロッパ勢力の海外進出の過程と世界に及ぼした影響について理解し説明できる。 10．イスラム圏・インド・東アジアの各国家の繁栄について理解し説明することができる。	R S T	R S T	R S 視聴学習
後期	近世・近代・現代	11. 近世ヨーロッパ世界の動向 12. 産業革命と環大西洋革命、欧米国民国家の形成 13. イギリスの優位と欧米国民文化の繁栄 14. アジア諸地域の動揺 15. 帝国主義とアジアの民族運動 16. 第一次世界大戦と社会の変容 17. 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 18. 冷戦と第三世界の台頭 19. 冷戦の終結と今日の世界 ●NHK テレビ高校講座：世界史探究 ●インターネット・コンテンツ	11．ルネサンス、宗教改革といった近世におけるヨーロッパ文明について理解し説明することができる。 12～13．欧米における産業革命の過程と影響、国民国家と国民文化の成立過程と特徴について理解し説明することができる。 14～15．欧米諸国の干渉や植民地政策と、それに対して各国がどう対応し影響を受けたのかを理解し説明することができる。 16～17．２回における世界大戦の過程と世界に与えた影響について理解し説明するっことができる。 18～19．冷戦の構造と終結について理解し説明することができる。また現代の日本と人類が抱える問題とその対処法について積極的に学び考えることができている。	R S T	R S T	R S 視聴学習

- 観点別評価…Ａ：知識・技能／Ｂ：思考・判断・表現／Ｃ：主体的に学習に取り組む態度
- 評価方法……Ｒ：レポート(報告課題)／Ｓ：スクーリング(面接指導)／Ｔ：テスト(単位認定試験)